授業科目・形態	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	必修・選別の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	田中　誠	実務経験有無	有	開講期	2後期
科目ナンバリング	W4-2001sp　R				

「授業の主題」本講義ではソーシャルワーク実践の土台となる、相談援助における人と環境との交互作用に関する理論とジェネラリストソーシャルワークについての基礎を学ぶ。その上で、多様なクライエントが抱える多様な問題に対するソーシャルワークの過程の基礎を学ぶ。

「到達目標」ソーシャルワークの定義と枠組み、構造と機能および様々なアプローチの理解

「授業計画・内容」

第　１回ソーシャルワーク過程におけるケース発見
第　２回ソーシャルワーク過程におけるアセスメント
第　３回ソーシャルワーク過程におけるプランニング①
第　４回ソーシャルワーク過程におけるプランニング②
第　５回ソーシャルワーク過程における実施とモニタリング
第　６回ソーシャルワーク過程における効果測定、終結、アフターケア
第　７回人と環境の交互作用システム理論
第　８回人と環境の交互作用生態学理論
第　９ソーシャルワークの面接の意義と目的、方法①
第１０回ソーシャルワークの面接の意義と目的、方法②
第１１回記録の書き方
第１２回ケースマネジメント
第１３回グループワークの意義と目的
第１４回グループワークの展開過程
第１５回コミュニティワークの意義と目的

「授業実施方法」講義形式

「授業事前・事後」事前に教科書を読んでおくこと、アンダーラインを引いたところを復習すること

「主な関連科目」ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ　中央法規

「教科書等」最新社会福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法「共通科目」 中央法規

「参考文献」 講義の中で紹介する

「成績評価方法」 筆記試験又はレポート 80%　　授業態度２0%で評価する

「実践経験及び実務を活かした授業内容」

４０年以上の実務経験で様々な相談援助を経験しており、あらゆる場面を想定し学生がどのように対応するかを考える機会を提示したい。

「学生へのメッセージ」

　ソーシャルワークの過程や面接方法を学ぶことはクライエントへの援助の必須条件であり基本であるこれらを習得することは実践活動の効果を確実に向上させる